



飯能市が進める緊急財政対策の見直しを求める請願

(趣旨)

緊急財政対策としての事務事業見直し検討シートの最新版でも、多くの項目において、名栗地区の住民、また全ての飯能市民の生活に密接に結びつく施設や事業の縮小、休止、廃止の方針が示されています。各項目についてこのまま実行されれば、市民生活に大きなマイナス要因になることは疑いありません。特に名栗地区など山間地域では、新たな移住者が増えてきたにもかかわらず、今後の移住を中断・断念させることに直結します。

本年1月17日・18日開催の市による住民説明会では、令和8年度予算は財政調整基金に頼らない編成が達成できて、財政調整基金等は18.7億円に積みあがる見込みとの報告がありましたが、依然として財政状況は厳しいものと推測されます。しかし事務事業見直しを市民の十分な理解を得ないまま性急に進めることは如何なものでしょうか。

令和8年度以降の緊急財政対策については、市政への市民参加（市民参画）の仕組みを視野に入れ、市民と市議会及び市とがよく協議して進めていただきたいと思います。財政支出を少なくするために、施設や事業の縮小、休止、廃止だけを押し進めるのではなく、市民に協力を求め、市民とともに施設や事業の効率的・合理的な運営を考えるよう求めます。それによって、財政支出をおさえる努力をしていただくよう切に希望します。

以上の趣旨により、地方自治法第124条の規定により請願します。

(請願事項)

令和8年度以降、緊急財政対策の進め方を見直し、市民との協議や、市議会での審議を尽くした上で、施策をすすめること。

令和 8 年 2 月 19 日

住所：埼玉原飯能市下名栗342

役職：飯能市自治会連合会名栗支部 支部長

氏名：竹田 洋一郎
他 102 名

3字削除
3字加入


1字削除
1字加入


紹介議員 関田 直子

同 平 昭弘

同

飯能市議会議長 栗原義幸 様